

あさ開

あさびらき

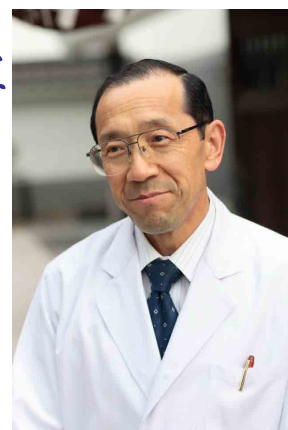
岩手
盛岡市

歴史

明治4年（1871年）南部藩士だった7代目村井源三が武士を辞め盛岡で酒造りを始めたのが創業にあたります。酒名である「あさ開」は万葉集の中の歌詞にちなんだもので「船出」の喜びをたたえ、祝福した歌の枕詞です。文化の香り高い国には、その国ならではのうれしい酒があります。

岩手は、古くから南部杜氏の里として知られた酒どころ、米、水、技に恵まれたこの地で、豊かな自然に磨かれ、愛すべき人々にはぐくまれて百三十有余年、日本酒「あさ開」は、いまも酒の里・岩手を代表するブランドとして、地元で、東京で、海外でと高い評価をいただいています。

社名である「あさ開」は、万葉集の中の歌詞にちなんだもので、「船出」の歓びをたたえ、祝福した歌の枕詞。時代とともに、求められる酒の味も変わっています。「あさ開」の歴史は、伝統を大切にしながらも、時代を先取りする技術と感性を磨き続けてきた歴史ともいえます。そこには常に「船出」がありました。時代に心を開き、時代を切り拓いてきた熱き志がありました。その凝縮された思いを一滴一滴に込めながら「あさ開」は、これからも美味しい日本酒を造り続けてまいります。



杜氏 藤尾正彦氏

平成17年度に厚生労働省

「特定技能者制度（現代の名工）」選出。

平成20年春の「黄綬褒章」を受章。

米づくり

をしながら、農閑期に酒蔵に出稼ぎに出るというのが、昔からの南部杜氏の姿でした。私も、周囲の習慣に習って、千葉の酒造会社に出稼ぎに出たのをきっかけに、40年近く酒造りを続けているわけですが、酒造りの基本は、人力であろうが、機械であろうが今も昔も変わりません。「1麴、2もと（酒母）、3造り（もろみ）」と言う言葉があつて、酒造りを左右する大きな要素になっているんですが、最初の工程である麴づくりはもつとも気の抜けない作業で、温度、湿度などの環境によって変化を重ね、ひとときも休むことなく発酵の度合いを変えていきます。たった2昼夜で全ての味に影響を与えてしまうなんて、酒はほんとうに生き物という言葉がピッタリです。

基本となるのは原料の米もそうです。酒造好適米の中で、兵庫県の「山田錦」にかなう米は無いんですが、収穫量も少なく、岩手では以前は手に入れることは難しかったです。そこで岩手で酒に適した米を栽培しよう、と様々な試験栽培した中で、長野が原産の「美山錦」を岩手で栽培することに成功しました。その後、岩手で開発した米、独自の酵母による酒が出来ないかと、研究を重ね、その願いが8年越しで実を結んだのが、岩手県産酒造好適米「吟ぎんが」です。50%まで丹念に精白して爽やかな香りと軽快な飲み口が特徴で、大変好評をいただいています。これからは「山田錦」を超える米・酒造りが目標になります。

酒造りは農業。

手間を惜しんではいけない。

	岩手	あさ開	
	あさびらき すいじん じゅんまいおおからくち あさ開 水神 純米大辛口		
	使用米/ 国産米		
	精米歩合/ 70%		ALC度/ 16
	酸度/ -		日本酒度/ +10
	Dコード	21854	
	容量/入数	1800ml / 6	
	1800ml / JAN	4970829216103	
一般的に辛口と言えば日本酒度+5度ですが、純米酒ながら+10度の辛さを 実現したのが純米大辛口水神(すいじん)です。ただ辛いだけではなく、米本来 の味わいがしっかり残る『味のある辛口純米』に仕上がっております。様々なお 料理に合わせていただきたい純米大辛口です。飲食店様限定のご案内となっ ております。			
備考			
	岩手	あさ開	
	じゅんまいりょうりしゅ びぜんけんしょう 純米料理酒 美膳健笑		
	原料/ 米(国産)・米麹(国産米)		
	ALC度/		17
	Dコード	21858	
	容量/入数	720ml /	12
	720ml / JAN	4970829234404	
	料亭「菊乃井」と「あさ開」の共同開発で生まれたこだわりの料理酒。淡い黄金 色で濃醇な味わい。料理時のお砂糖とお塩が少なくても、しっかりと味わい に仕上がります。		
備考			

	岩手	あさ開	
	くらふとうからー じゅんまいしゅ 蔵埠頭COLOR 純米酒		
	使用米/ 国産米		
	精米歩合/ 65%		ALC度/ 15
	酸度/ 1.5		日本酒度/ +2
	Dコード	21884	21885
	容量/入数	1800ml / 6	720ml / 12
	1800ml / JAN	4970829202007	
	720ml / JAN	4970829202304	
「蔵埠頭(くらふとう)COLORシリーズ」。社名の「あさ開」が船出を意味すること と酒蔵の槽場(ふなば)をかけ、槽場から飲む方のもとへ船出する個性豊かな お酒を色にたとえて命名。純米酒のラベルはエネルギーと太陽をイメージ させる色をメインカラーとし、酒質の「なめらか」「まろやか」「うまうち」を丸みの あるデザインで表しました。			
備考			